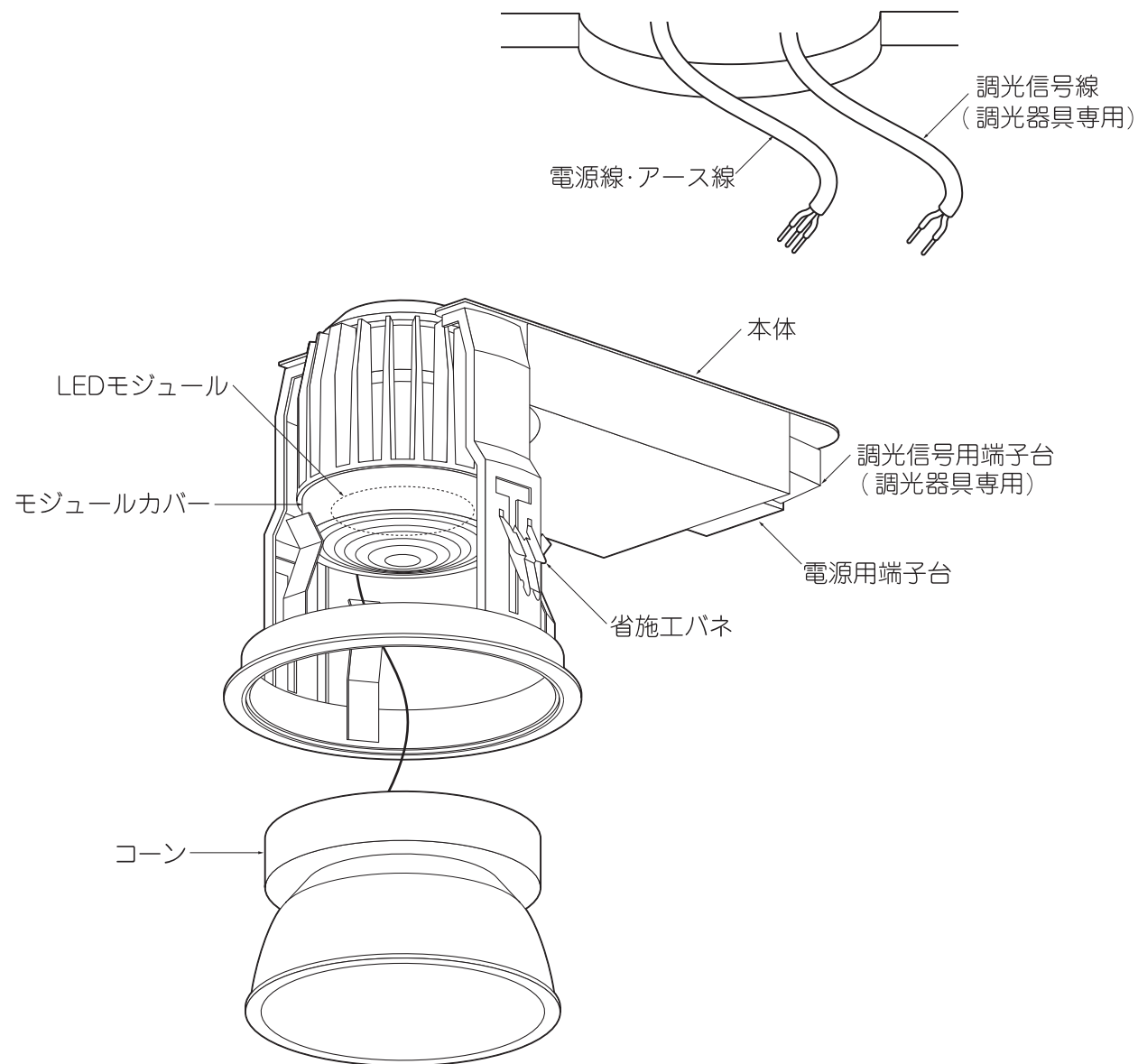


[型番] ERD3165S,ERD3166S,ERD3167S,ERD3168S,ERD3169S,ERD3170S,ERD3171S
 ERD3172S,ERD3173S,ERD3174S,ERD3175S,ERD3176S,ERD3221S,ERD3222S
 ERD3223S,ERD3224S,ERD3233S,ERD3234S
 ERD3249S/W,ERD3250S/W,ERD3251S/W,ERD3252S/W,ERD3253S/W,ERD3254S/W
 ERD3255S/W,ERD3256S/W,ERD3257S/W,ERD3258S/W,ERD3259S/W,ERD3260S/W
 ERD3261S/W,ERD3262S/W,ERD3263S/W,ERD3264S/W,ERD3265S/W,ERD3266S/W
 ERD3328S,ERD3329S,ERD3330S,ERD3331S,ERD3332S,ERD3333S,ERD3334S
 ERD3335S,ERD3336S,ERD3337S,ERD3338S,ERD3339S,ERD3340S,ERD3341S
 ERD3342S,ERD3343S,ERD3344S,ERD3345S
 ERD3350S/W,ERD3351S/W,ERD3352S/W,ERD3353S/W,ERD3354S/W,ERD3355S/W
 ERD3356S/W,ERD3357S/W,ERD3358S/W,ERD3359S/W,ERD3360S/W,ERD3361S/W
 ERD3362S/W,ERD3363S/W,ERD3364S/W,ERD3365S/W,ERD3366S/W,ERD3367S/W

◆各部の名称 この図は一部省略抽象した共通部品図です



- ⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。
- 清掃方法について ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
 - 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
 - シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。
 ERD3165S-T 4版

◆仕様

区分	非調光型番	ランプ色	配光	近接照射限度	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力							
非調光	2400タイプ	ERD3165S,ERD3249S/W	電球色タイプ(3000K)	広角	0.3m	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	315mA	30.6W						
		ERD3166S,ERD3250S/W		超広角				200V	167mA	30.0W						
		ERD3167S,ERD3251S/W	ナチュラルホワイトタイプ	広角				242V	148mA	30.1W						
	3000タイプ	ERD3168S,ERD3252S/W		超広角				100V	436mA	42.7W	200V	221mA	41.5W			
		ERD3169S,ERD3253S/W	電球色タイプ(3000K)	広角												
		ERD3170S,ERD3254S/W		超広角												
		ERD3221S,ERD3255S/W	温白色タイプ	広角												
		ERD3222S,ERD3256S/W		超広角												
		ERD3171S,ERD3257S/W	ナチュラルホワイトタイプ	広角												
	4000タイプ	ERD3172S,ERD3258S/W		超広角				100V	551mA	53.4W	200V	277mA	51.6W			
		ERD3223S,ERD3259S/W	電球色タイプ(3000K)	広角												
		ERD3224S,ERD3260S/W		超広角												
ERD3173S,ERD3261S/W		電球色タイプ(3000K)	広角													
ERD3174S,ERD3262S/W			超広角													
ERD3175S,ERD3263S/W		ナチュラルホワイトタイプ	広角													
調光	2400タイプ	ERD3233S,ERD3265S/W	電球色タイプ(3000K)	広角	0.3m	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	315mA	30.6W						
		ERD3234S,ERD3266S/W		超広角							200V	167mA	30.0W			
		ERD3328S,ERD3350S/W	ナチュラルホワイトタイプ	広角							242V	148mA	30.1W			
	3000タイプ	ERD3329S,ERD3351S/W		超広角							100V	436mA	42.7W	200V	221mA	41.5W
		ERD3330S,ERD3352S/W	電球色タイプ(3000K)	広角												
		ERD3331S,ERD3353S/W		超広角												
		ERD3332S,ERD3354S/W	電球色タイプ(3000K)	広角												
		ERD3333S,ERD3355S/W		超広角												
		ERD3334S,ERD3356S/W	温白色タイプ	広角												
	4000タイプ	ERD3335S,ERD3357S/W	ナチュラルホワイトタイプ	広角							100V	551mA	53.4W	200V	277mA	51.6W
		ERD3336S,ERD3358S/W	電球色タイプ(3000K)	広角												
		ERD3337S,ERD3359S/W		超広角												
ERD3338S,ERD3360S/W		電球色タイプ(3000K)	広角													
ERD3339S,ERD3361S/W			超広角													
ERD3340S,ERD3362S/W		ナチュラルホワイトタイプ	広角													

※放熱の構造により、使用中にわずかなうなり音・振動が発生する場合がありますが異常ではありません。

◆適合LEDモジュール

区分	型番	ランプ色	配光
2400タイプ	CMS2430W-80NHP1	電球色タイプ(3000K)	広角
	CMS2430F-80NHP1		超広角
	CMS2440W-80NHP1	ナチュラルホワイトタイプ	広角
	CMS2440F-80NHP1		超広角
3000タイプ	CMS3030W-80NHP1	電球色タイプ(3000K)	広角
	CMS3030F-80NHP1		超広角
	CMS3035W-80NHP1	温白色タイプ	広角
	CMS3035F-80NHP1		超広角
	CMS3040W-80NHP1	ナチュラルホワイトタイプ	広角
	CMS3040F-80NHP1		超広角
	CMS3050W-80NHP1	昼白色タイプ	広角
	CMS3050F-80NHP1		超広角
4000タイプ	CMS4030W-80NHP1	電球色タイプ(3000K)	広角
	CMS4030F-80NHP1		超広角
	CMS4040W-80NHP1	ナチュラルホワイトタイプ	広角
	CMS4040F-80NHP1		超広角
	CMS4050W-80NHP1	昼白色タイプ	広角
	CMS4050F-80NHP1		超広角

⚠ LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べパルクがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆信号制御方式の調光器具について

・調光した状態で、電源スイッチを切り切った場合、一旦明るく光った後に調光状態や消灯状態に移行する場合があります。

◆適合信号制御器(別売)の接続台数

型番	定格電圧	区分	接続台数	調光範囲
X-239W	AC100V	2400タイプ	33台(50台)	10%~100% 連続調光
		3000タイプ	24台(50台)	
		4000タイプ	19台(50台)	
X-240W	AC200V	2400タイプ	31台(50台)	
		3000タイプ	25台(50台)	
		4000タイプ	23台(50台)	

※()内は、信号供給のみの接続台数です。

◆取付方法

- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

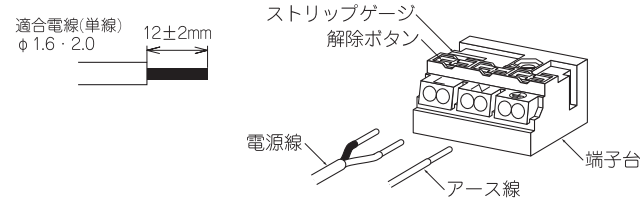
⚠ 感電の原因となります。

- この器具は天井取付専用器具です。器具重量に十分耐えるよう、天井取付部の強度を確保し、指定の埋込穴をあけてください。(取付有効板厚3mm~25mm)

型番	埋込穴寸法
ERD3165S,ERD3166S,ERD3167S ERD3168S,ERD3169S,ERD3170S ERD3171S,ERD3172S,ERD3221S ERD3222S,ERD3223S,ERD3224S ERD3249S/W,ERD3250S/W,ERD3251S/W ERD3252S/W,ERD3253S/W,ERD3254S/W ERD3255S/W,ERD3256S/W,ERD3257S/W ERD3258S/W,ERD3259S/W,ERD3260S/W ERD3328S,ERD3329S,ERD3330S ERD3331S,ERD3332S,ERD3333S ERD3334S,ERD3335S,ERD3336S ERD3337S,ERD3338S,ERD3339S ERD3350S/W,ERD3351S/W,ERD3352S/W ERD3353S/W,ERD3354S/W,ERD3355S/W ERD3356S/W,ERD3357S/W,ERD3358S/W ERD3359S/W,ERD3360S/W,ERD3361S/W	φ125±1
ERD3173S,ERD3174S,ERD3175S ERD3176S,ERD3233S,ERD3234S ERD3261S/W,ERD3262S/W,ERD3263S/W ERD3264S/W,ERD3265S/W,ERD3266S/W ERD3340S,ERD3341S,ERD3342S ERD3343S,ERD3344S,ERD3345S ERD3362S/W,ERD3363S/W,ERD3364S/W ERD3365S/W,ERD3366S/W,ERD3367S/W	φ150±1

⚠ 取付部の強度が不十分な場合、上記埋込穴寸法より大きい場合は、器具落下・光モレの原因となります。

- 電源線を端子台に接続してください。
 - 電線はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。
 - 電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
 - 送り容量15A以下。
 - D種接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。



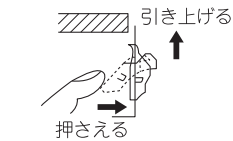
- ⚠ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。接点金具が変形し、焼損、漏電、感電、不点灯の原因となります。
- ⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
- ⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

- コーンを本体から引き抜いてください。

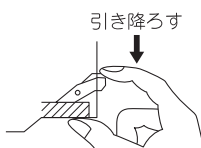
- 本体を埋込穴に押し込んでください。

取付け方

- ① パネを本体側に押しつけて器具を天井開口部に引き上げてください。

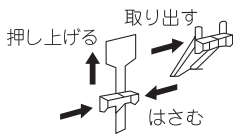


- ② 本体内部パネの平らな部分を引き降ろし天井面としっかりはさみ込んでください。



取外し方

- ③ 本体を天井から取外す場合は、パネ両側をはさみ押し上げパネ取付穴より取り出しててください。



⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- コーンを本体に確実に取付けてください。

⚠ 取付けに不備がありますと落下の原因となります。

◆LEDモジュールの交換方法

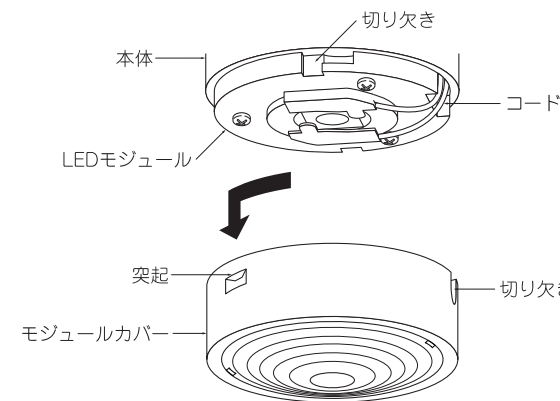
- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

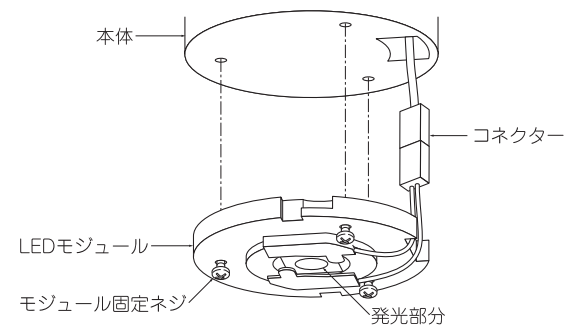
⚠ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は高温になりますので、LEDモジュール交換はしないでください。やけどの原因となります。

- コーンを本体から引き抜いてください。

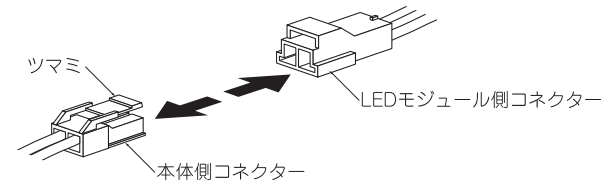
- モジュールカバーを左に回してLEDモジュールから取りはずしてください。



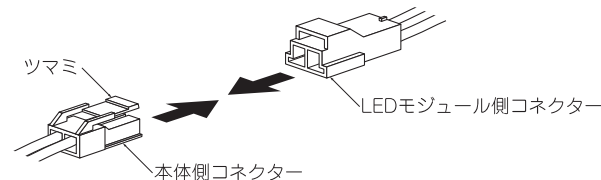
- モジュール固定ネジ(3個)をゆるめてLEDモジュールを本体から取りはずしてください。



- ツマミを押しながら本体側コネクタをLEDモジュール側コネクタから引き抜いてください。



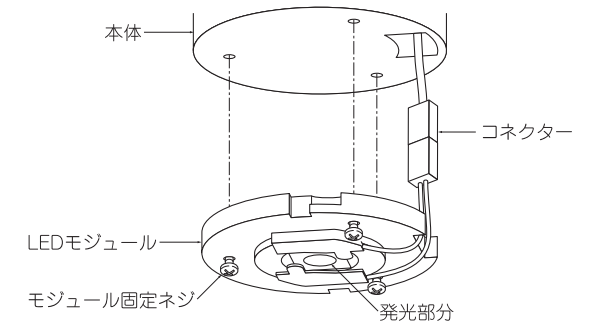
- 新しいLEDモジュールのコネクタに本体側コネクタを確実に差し込み接続してください。



⚠ 接続不完全な場合、火災・漏電の原因となります。

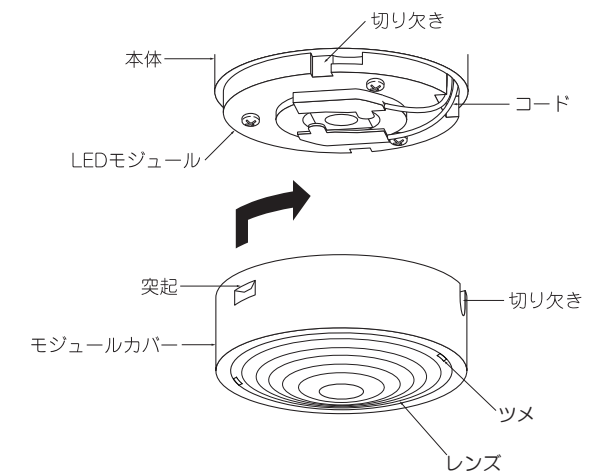
- コネクタを本体内部に収納し、LEDモジュールを本体に合わせて、モジュール固定ネジ(3個)でコードを挟まないよう十分注意して確実に取付けてください。

※取付けの際、LEDモジュールの発光部分には触れないように注意してください。



⚠ 取付けが不十分な場合、火災・落下・変色・変形及びLED短寿命や不点灯等の原因となります。

- モジュールカバーの切り欠きをLEDモジュールのコード側に合わせ、モジュールカバー内の突起をLEDモジュールの切り欠きに合わせ右に回して固定してください。



※ 交換後はモジュールカバーのツメにレンズがしっかりと取付いている事を確認してください。

⚠ 取付けが不十分な場合、部品落下の原因となります。

- コーンを本体に確実に取付けてください。

⚠ 取付けに不備がありますと落下の原因となります。